

Photoshop で作成される方へ

Ps データ作成の注意事項

データを作成する際の注意事項をご説明いたします。

作成の前に、ご一読いただきますようお願い申し上げます。

Photoshop CS6 以前のバージョンについてはサポート対象外となっております。

■必ず CMYK モードで作成してください。

画面上で表示されるフルカラーの設定には、光の三原色である RGB カラーと、色料の三原色である CMY に K を足した CMYK カラーの 2 種類があります。

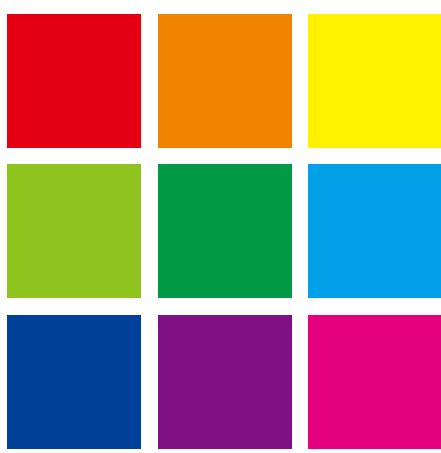
RGB カラーは、R（レッド）G（グリーン）B（ブルー）の三色の光の割合で色が表現され、画面上での表示やデジカメでの記録に使用されます。

CMYK カラーは、フルカラー印刷機に使用される C（シアン）M（マゼンタ）Y（イエロー）K（ブラック）の 4 色のインクで表現される色をシミュレーションしたものです。

RGB カラー（光の色）は、CMYK（インクの色）よりも広い色域を表現できるため、RGB カラーで作成したデータを印刷すると、色味が変化してしまう場合があります。

その為、カラーモードは**必ず CMYK カラー**で作成してください。

RGB カラーモードで入稿された場合、弊社にて CMYK カラーに自動的に変換いたします。その場合は色味の違いがあることをご了承頂いているものとして印刷に進めさせていただきます。



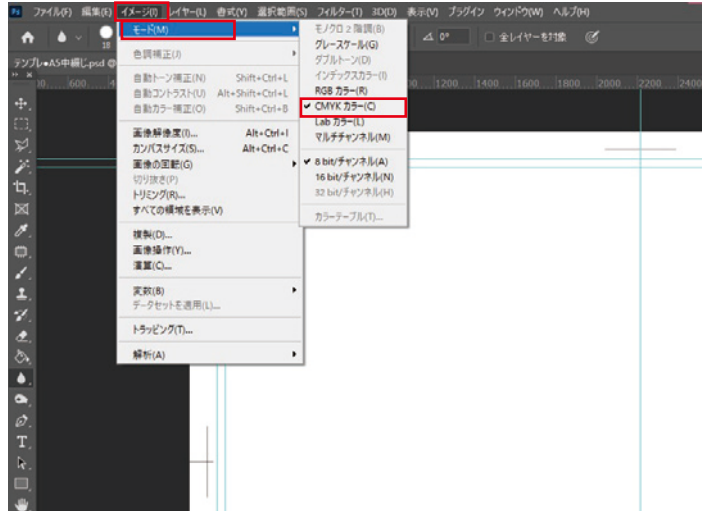
RGB モード
画面上の色イメージ



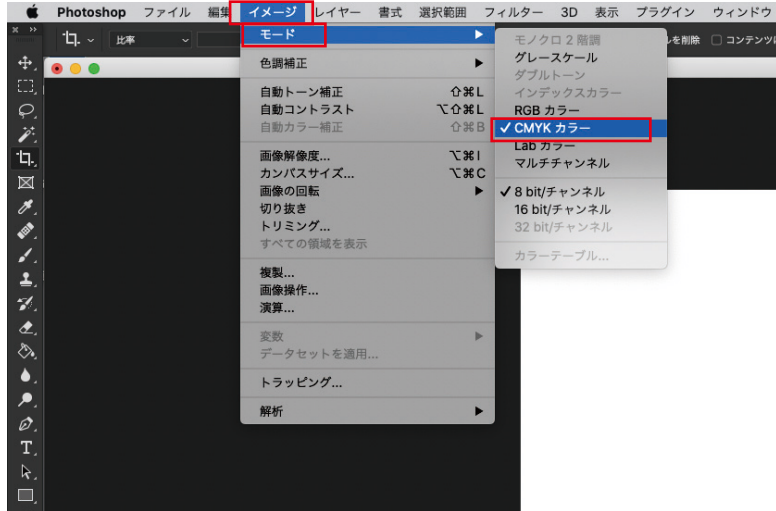
CMYK モード
印刷後の色イメージ

<カラーモードの変更方法>

「イメージ」→「モード」→「CMYK カラー」を選択する。



Windows の画面



Mac の画面

■画像の解像度は 350ppi(dpi) を推奨しております。

デザインで使用する画像の解像度は**原寸サイズで 350ppi(dpi)** を推奨しております。

解像度がわからない場合は、原寸データサイズ 2～3MB 程度あれば印刷に適していると思われます。

解像度が落ちると、画質が粗くなりますのでご了承ください。

推奨サイズ

写真データサイズ
2～3MB
(2 350ppi(dpi) x)



(※1MB=1000KB)

データサイズが
小さい場合

写真データサイズ
100KB
(1 72ppi(dpi))



(※1MB=1000KB)

■フォントサイズ・線の太さについてご注意ください。

フォントサイズは **6 ポイント以上**、線の太さは **0.2 ポイント以上**での作成を推奨しています。

それより小さいサイズを使用した場合に、文字がかすれたりつぶれる可能性がございます。

■レイヤー名「template」について。

「template」のレイヤーは、注意事項やガイド線のレイヤーとなりますので、動かさないようにお気をつけください。また、デザインは別のレイヤーに作成してください。

文字テキストレイヤーや非表示のレイヤーなどが残っていると、予期せぬトラブルの原因となる場合があります。

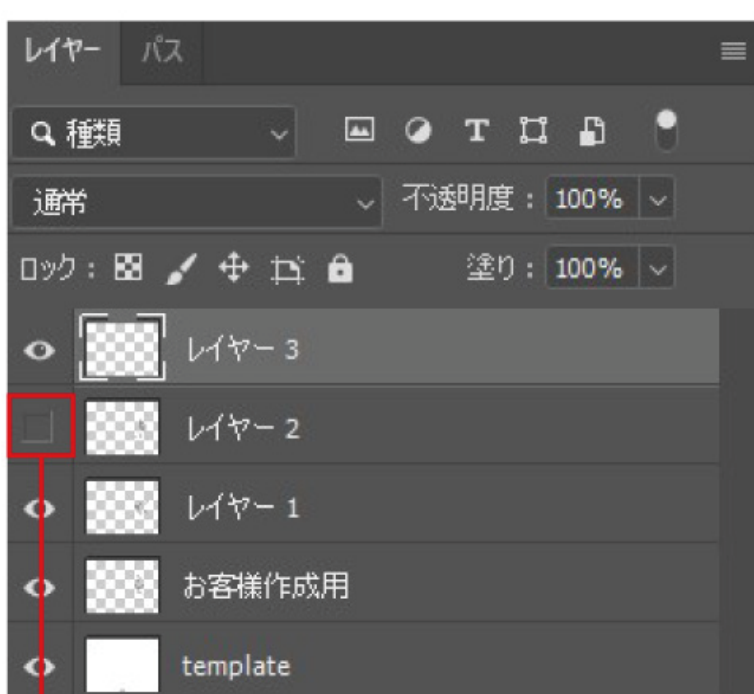
<PDF 形式で入稿される場合の注意点>

保存する際は、**レイヤー名「template」は削除し、すべてのレイヤーを統合し、1 枚のレイヤーにしてから PDF へ保存**してください。

レイヤーを統合すると非表示レイヤーは破棄されます。印刷したいレイヤーは必ず、表示状態にして操作をしてください。

また、レイヤーの統合後は、テキストの編集やレイヤー毎の編集が出来なくなります。

レイヤーの結合後は別名保存をし、結合前と結合後のデータを分けることを推奨いたします。



非表示になっている場合は、
レイヤーウインドウにある目のマークが消えています。

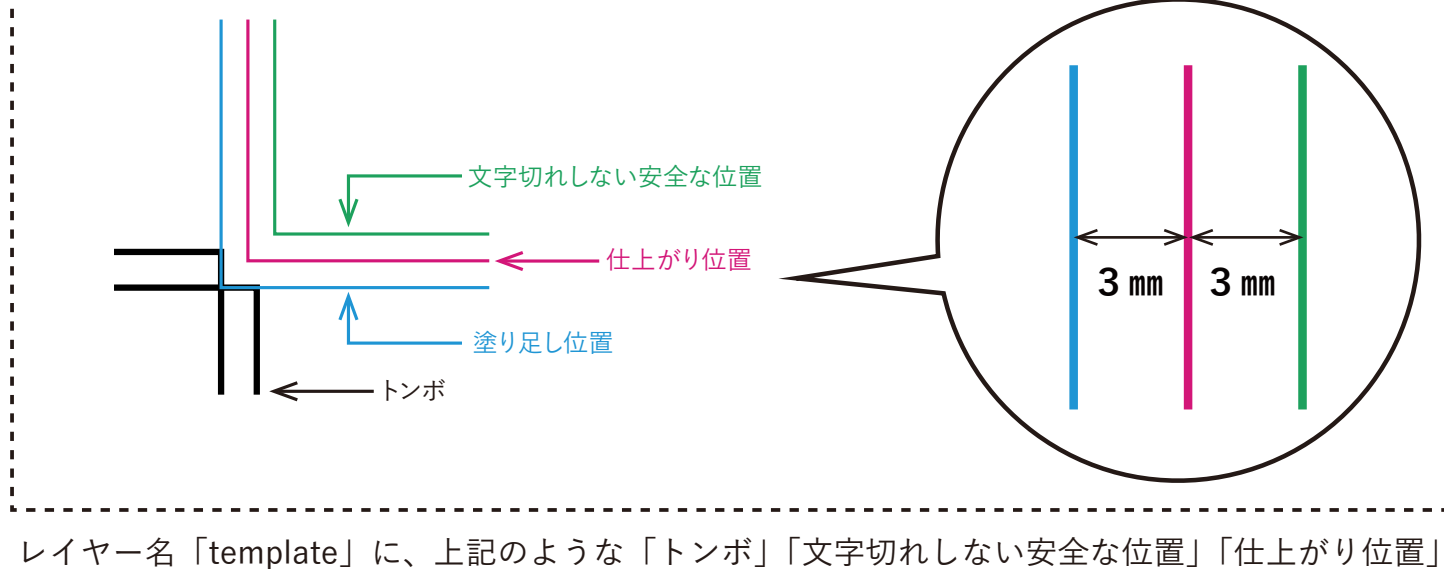
※入稿前に、ソフトから書出した PDF データの精査・確認校正をお願いします。

※印刷データに不備があった場合、印刷トラブルや納品日が遅れる原因となりますのでご注意ください。

Photoshop で作成される方へ

Ps 中綴じ製本のテンプレート

■ガイド線をご確認の上、作成してください。



レイヤー名「template」に、上記のような「トンボ」「文字切れしない安全な位置」「仕上がり位置」「塗り足し位置」のガイド線があります。ガイド線に合わせてデータを作成してください。

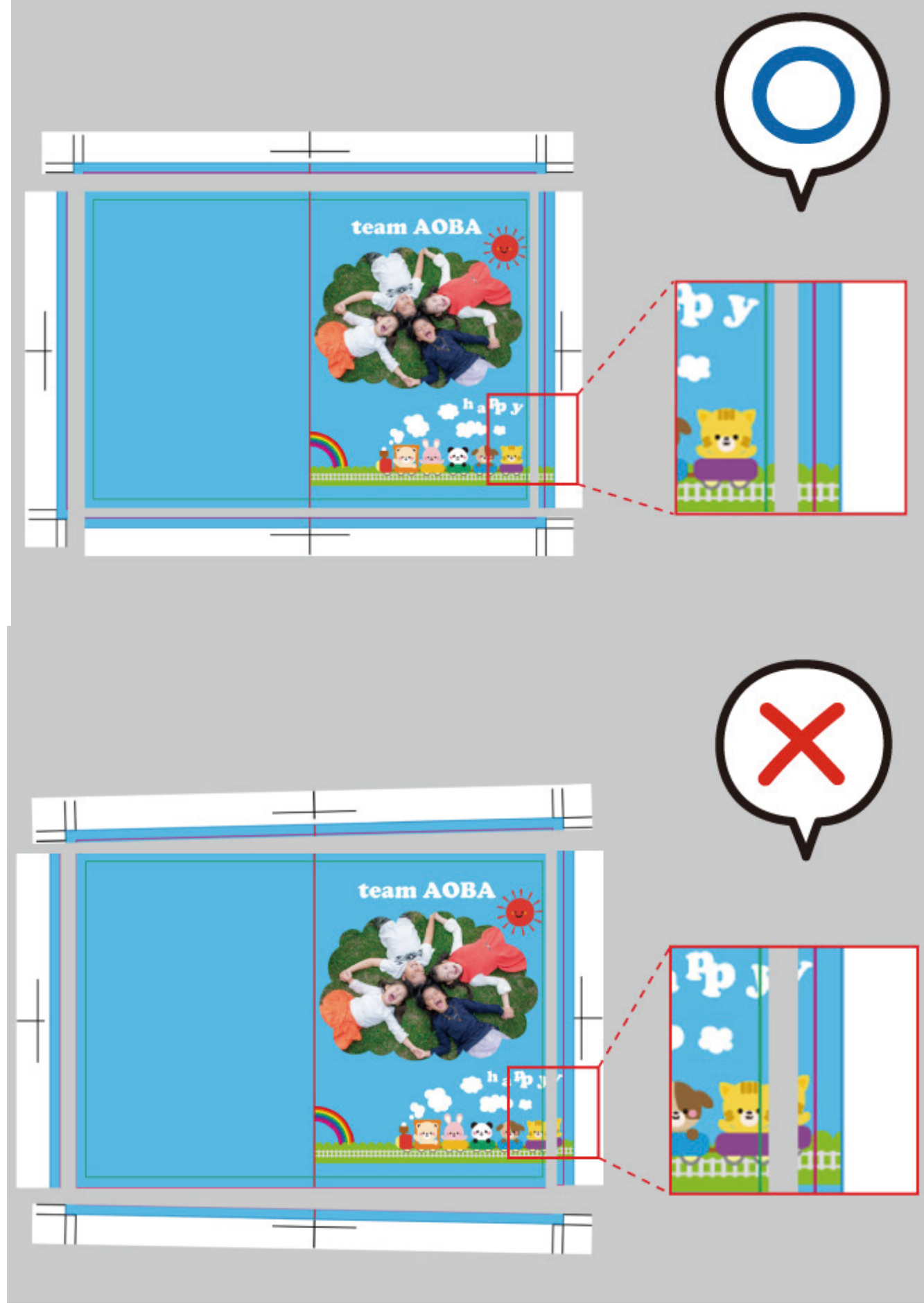
※「template」レイヤーにデザインをしないようご注意ください。

トンボは、断裁の目印として使われますが、一度に何枚も重ねて断裁をするため、どうしても微かなズレが生じてしまいます。その為、以下の点に注意してデータを作成してください。

①切れると困る文字や図柄は、文字切れしない安全な位置を参考にして配置してください。

(※本文用テンプレートは、端まで線を挿入することがある為文字切れしない安全な位置を表示しておりません。)

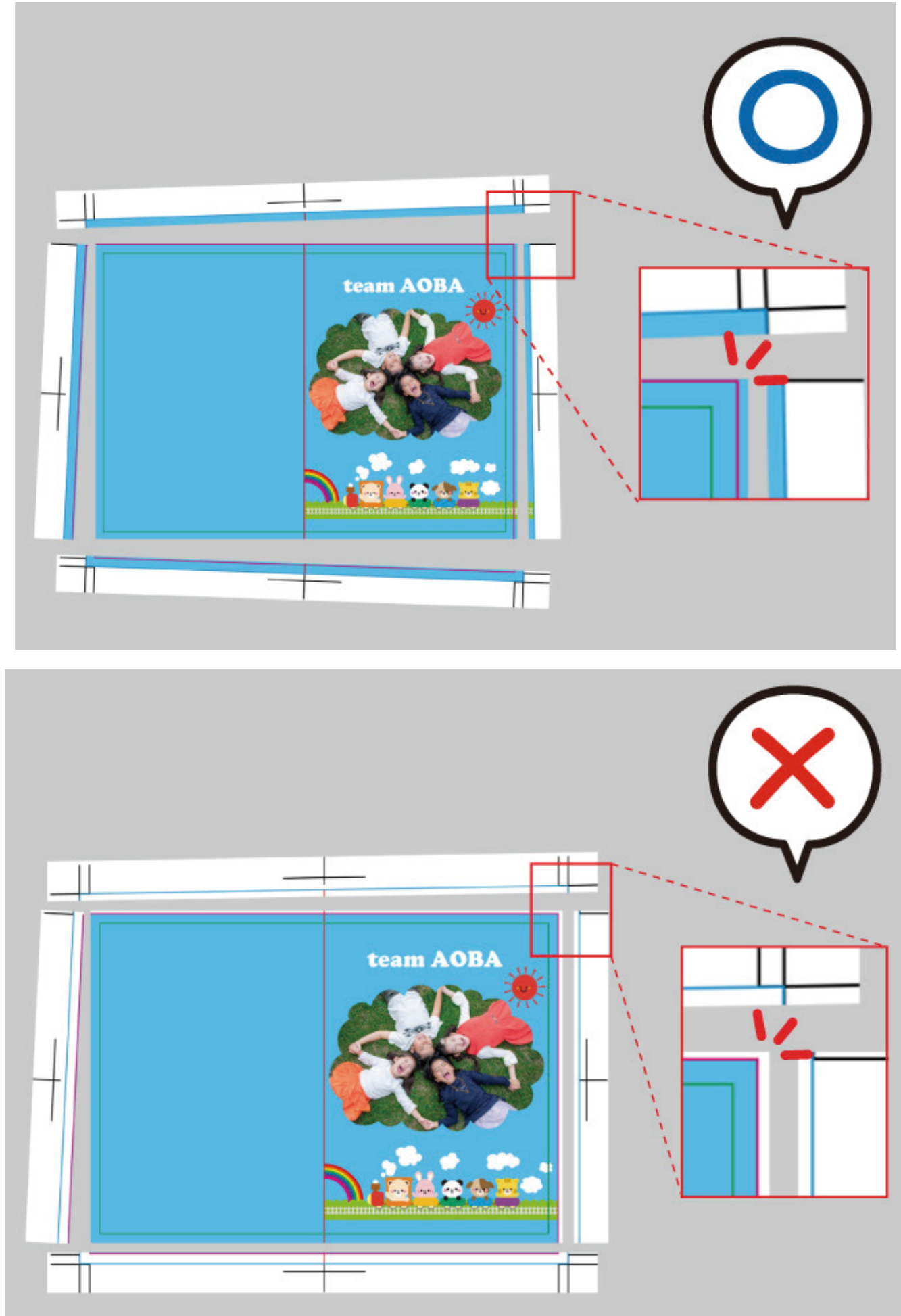
仕上がり位置（ピンク）の内側ギリギリに文字やイラストを配置してしまうと、断裁の際にズレが生じた場合、切れてしまいます。そのため、切れると困る文字やイラストは、文字切れしない安全な位置（緑色）の内側に配置してください。※本文用テンプレートは、端まで線を挿入することがあるため、文字切れしない安全な位置を表示しておりません。



②端まで色や写真が入るときは、必ずトンボに添った塗り足し位置までデータ作ってください。

一度に何枚も重ねて断裁をするため、どうしても微かなズレが生じてしまいます。そのため、塗り足し位置まで色をのせていない場合は、微かなズレが生じた際に、印刷用紙の白色が出てしまいます。

仕上がり位置（ピンク）から塗り足し位置（青色）の間は、切ってしまうものとしてご制作をお願い致します。



③データ作成完了後、不要なレイヤーや非表示のレイヤーは削除してください。

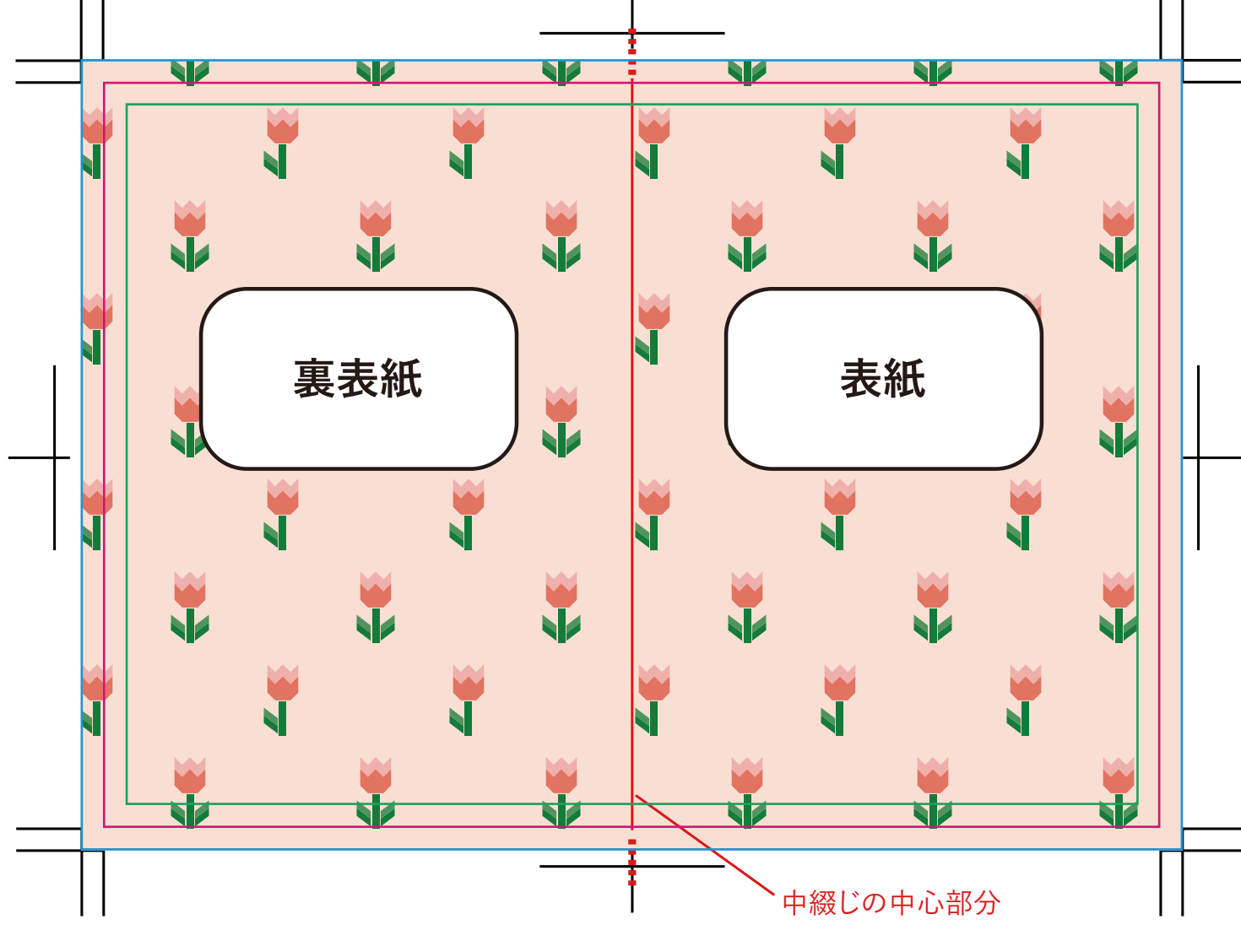
※PDF 形式で入稿される場合は、レイヤー名「template」を削除して、お客様のデザインのみ状態で保存してください。ガイド線が残っている場合、その線も印刷されてしまう為、ご注意ください。

■ご希望の綴じ向きに合わせて作成してください。

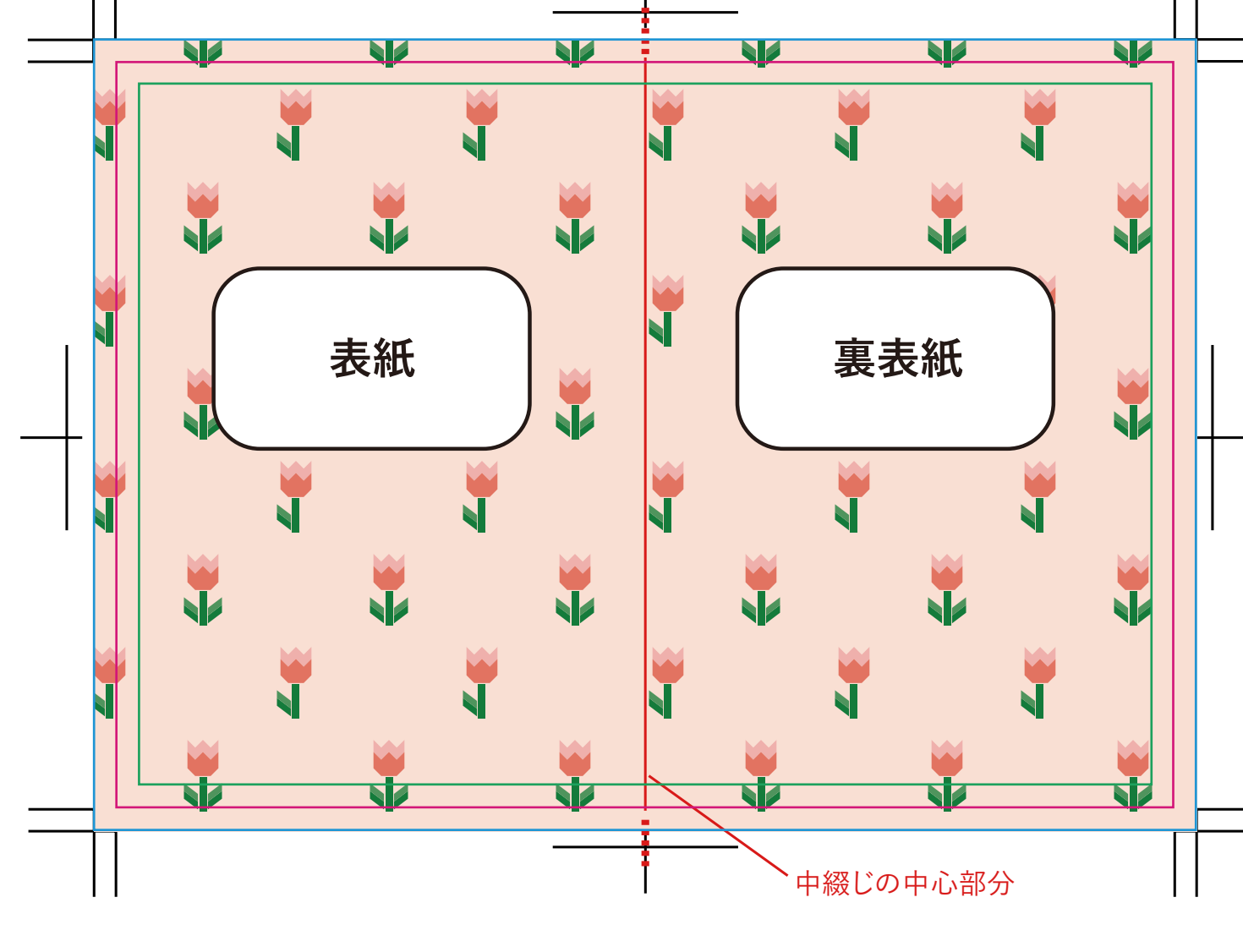
中綴じ製本のテンプレートは、見開きの状態になっております。

綴じ部分のガイド線がありますので、綴じ向きに注意してデザインをしてください。

< 左綴じの場合 >



< 右綴じの場合 >



Photoshop で作成される方へ

印刷用 PDF の保存方法

印刷用の PDF へ保存する方法をご説明いたします。

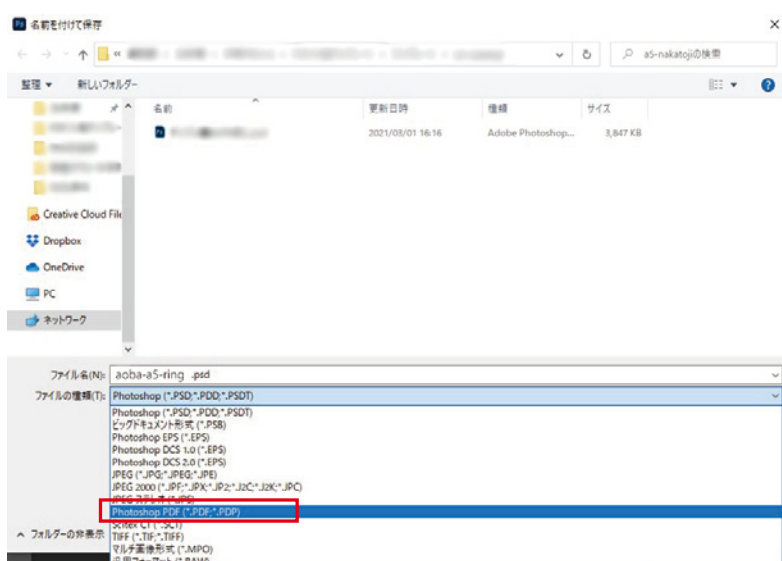
保存する際は、ご一読いただきますようお願い申し上げます。

Photoshop CS6 以前のバージョンについてはサポート対象外となっております。

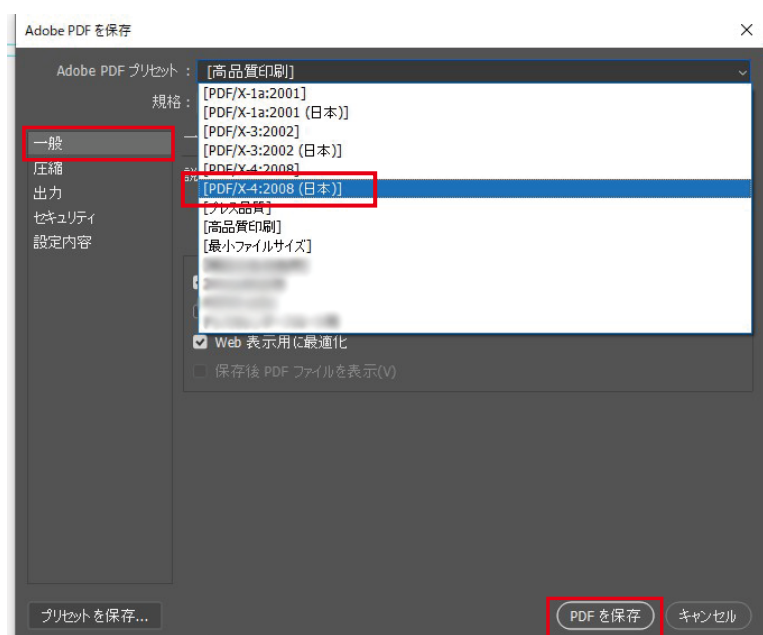
その為、保存方法やエラーについてはお答えしかねますので、ご容赦ください。

■PDF 保存方法 <Windows の場合>

- ①「名前を付けて保存」→ファイルの種類は「PhotoshopPDF」を選択する。

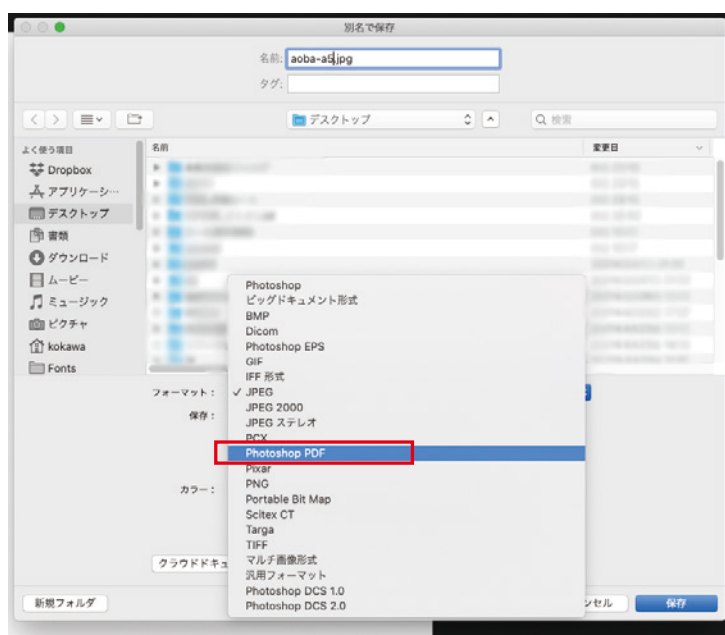


- ②「一般」→AdobePDF プリセット「PDF/X-4：2008」を選択して保存。

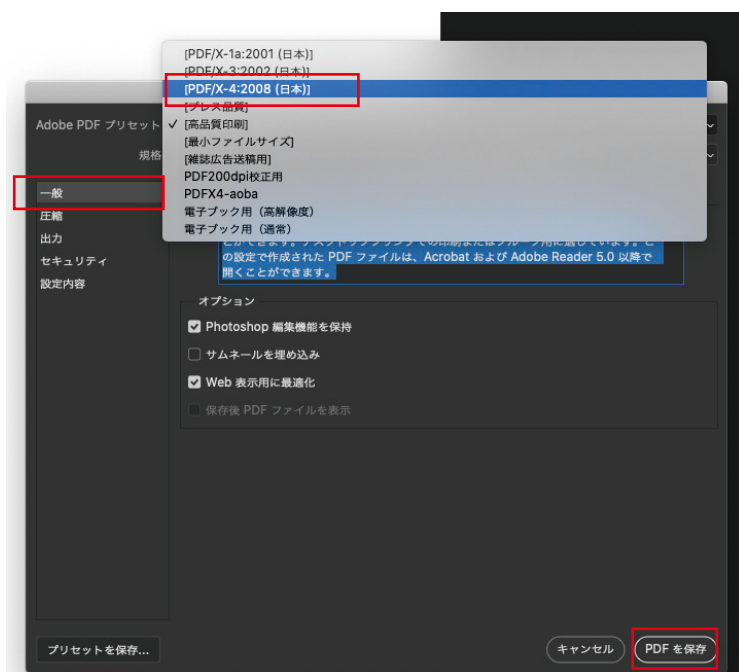


■PDF 保存方法 <Mac の場合>

- ①「別名で保存」→ファイルの種類は「PhotoshopPDF」を選択する。



- ②「一般」→AdobePDF プリセット「PDF/X-4：2008」を選択して保存。



Photoshop で作成される方へ



印刷用 PDF の保存方法

- ☐ カラーモードは CMYKになっていますか？
- ☐ 塗り足し位置まで絵柄がありますか？(全面に画像や色が入る場合)
- ☐ 配置した画像の画質に問題はありませんか？
- ☐ 縦じ向きに合わせたデザイン位置になっていますか？
- ☐ 「template」 レイヤーは削除しましたか？
- ☐ デザインしたレイヤーを1枚に統合してから保存しましたか？
- ☐ PDF形式に保存する際、「PDF/X-4:2008」を選択しましたか？
- ☐ 保存した PDFデータを開き、制作意図の通りになっていることを確認しましたか？

■PDF の確認には以下のソフトウェアが使用できます。



< Adobe Acrobat Reader >

PDF ファイルの閲覧用ソフトウェア。

Adobe 社のサイトより無料でダウンロードすることができます。

<https://get.adobe.com/jp/reader/>

AdobeのAcrobat Reader以外にも、多くのソフトウェアがありますので、お好みのソフトをお使いください。

※入稿前に、ソフトから書出した PDF データの精査・確認校正をお願いします。
※印刷データに不備があった場合、印刷トラブルや納品日が遅れる原因となりますのでご注意ください。